

auAM Quantitative-ControlレバレッジNASDAQ100

追加型投信／海外／株式／
特殊型（その他）

（愛称：Qレバナス）

NASDAQ
100
CONTROL
BULL
×1-3

※ファンド名称のauAMはauアセットマネジメントの略称です。

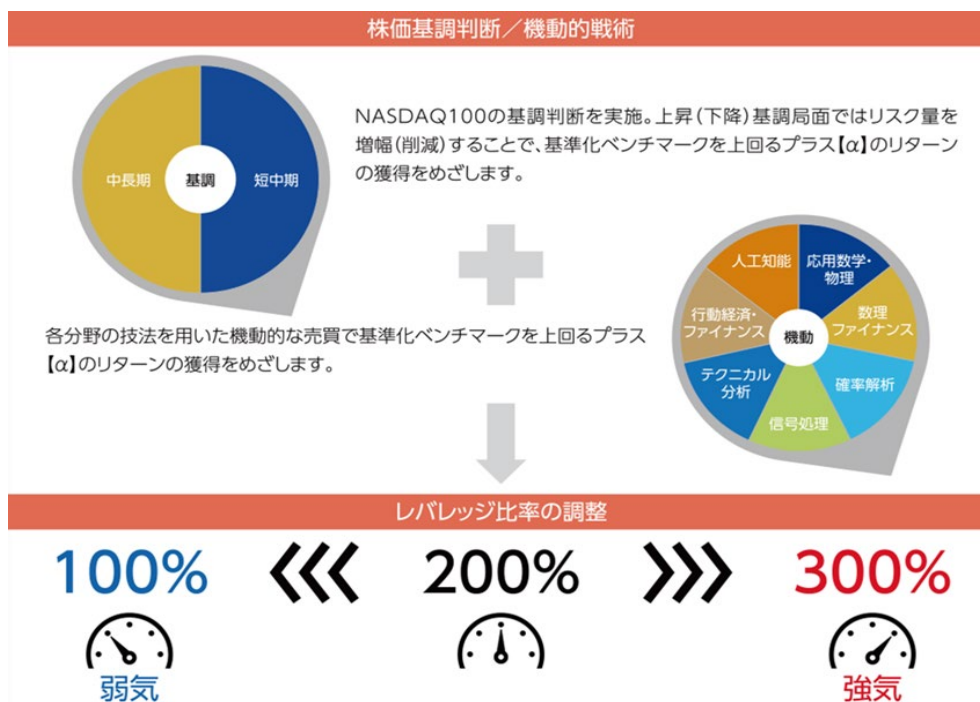
「第五期パフォーマンスについて」

作成日：2025年6月23日

- 当資料の内容は過去データを基にした結果を示すものであり、将来の運用成果を約束するものではありません。
- お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

改めてQレバナスの運用の仕組みについて解説します

運用戦略（レバレッジコントロール）について



※実際のレバレッジ比率は、買建玉の時価総額の変動等により変動します。目標レバレッジ比率には一定の変動許容幅を設けます。

Qレバナスでは、NASDAQ100 先物買建 200%のベース部分にクオンツによるアクティブ運用を加えて先物の組入ウェイトをコントロールしています。

この“アクティブ運用部分”では NASDAQ100 先物の組入ウェイトを-100%~100%でコントロールします。これはそれぞれアプローチの異なる【株価基調判断】と【機動的戦術】により決定されます。

このアクティブ運用部分（-100%~100%）と先物買建 200%のベース部分とあわせてレバレッジ比率 100%~300%で調整します。

基準価額の推移について

（前期決算日比 2143 円のマイナス）

図表 1 は、当ファンド第五期決算期間（2025/2/26~2025/5/22）の基準価額の推移を示したものです。決算日（2025/5/22）基準価額は、9,650 円、前回決算比▲2,143 円（第四期決算日 2025/2/25 基準価額 11,793 円）となりました。

【図表 1 基準価額推移（設定来（2024 年 3 月 22 日）~2025 年 5 月 22 日）】
（円）

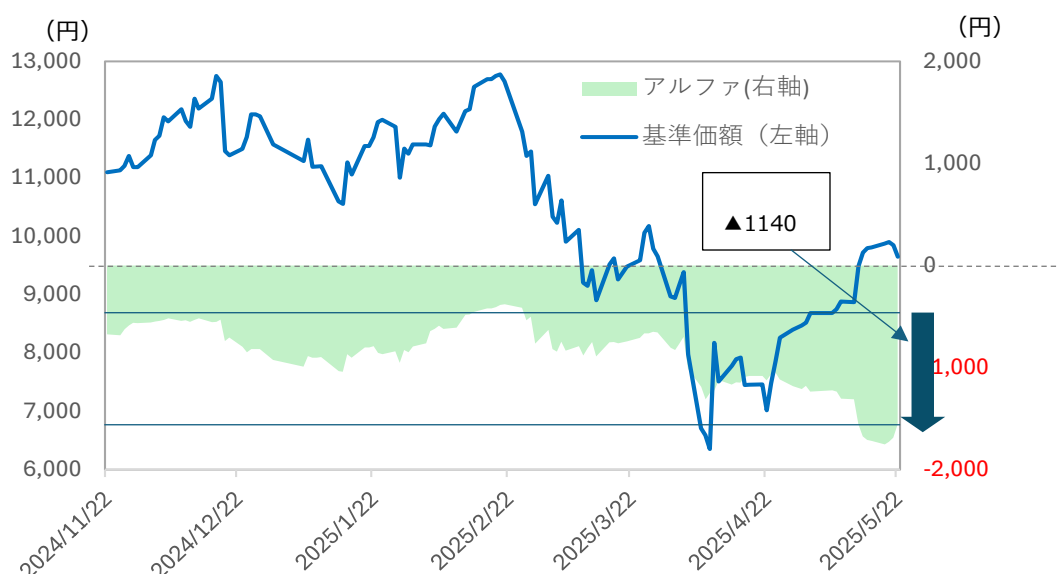


「アルファ」の推移について（第五期アルファ増減は▲1140 円）

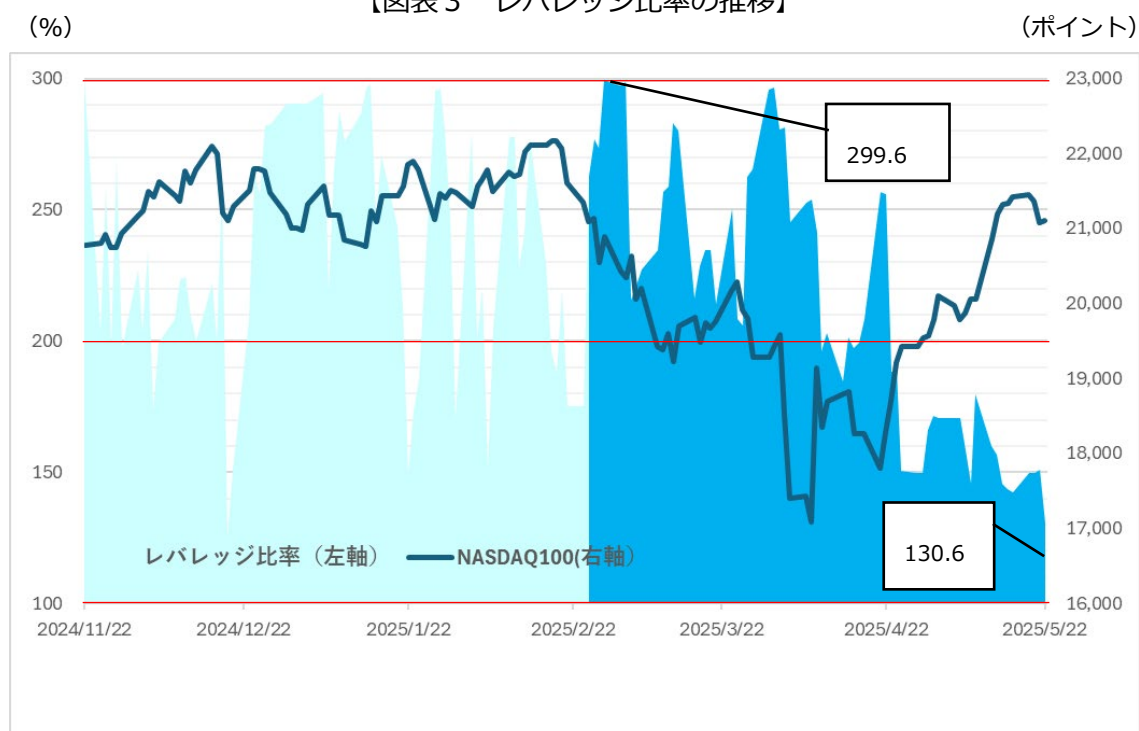
基準化ベンチマーク NASDAQ100 指数の 2 倍（円ヘッジベース）との比較

図表 2 は、当ファンドの第五期決算日（2025/5/22）までの基準価額と基準化ベンチマーク（NASDAQ100 指数の 2 倍（円ヘッジベース））との差「アルファ」（以降アルファと記載）の推移を示したものです。アルファは、前回決算時の▲415 から▲1555 円となり、成功報酬は発生しませんでした。この間のレバレッジ比率の動きを図表 3 にお示ししております。

【図表 2 第五期 基準価額と基準化ベンチマークとの差（アルファ）の推移】



【図表 3 レバレッジ比率の推移】



第五期のレバレッジ比率とマーケットイベントの振り返り

今期は、トランプ大統領が再び政界の中心に返り咲いたことで、政策の不透明感と対外関係の緊張を背景に、特にテクノロジー株を中心にボラティリティが急上昇。関税強化策やアメリカ・ファースト政策は企業収益見通しに影を落とし、株式市場における政策リスクプレミアムの拡大を引き起こしました。こうした中、当社のクオンツモデルは特に期の後半にかけ、レバレッジ比率を低く抑える傾向が顕著となりました。

今後も市場環境の変化に応じてモデルに基づいた機動的なレバレッジ調整を行い、投資家の皆さまの資産形成に貢献してまいります。

主なマーケットイベントとレバレッジ比率についての状況を記載します。

【マーケットイベント】

① 3月4日：トランプ追加関税政策を巡る不透明感から株価は軟調推移

トランプ政権は、メキシコとカナダからの輸入品に25%の新たな関税と、中国に対して課していた追加関税をさらに10%上乗せすると発表。貿易摩擦懸念が再燃し投資家心理が悪化し、株価は下げ足を早めました。

【レバレッジ比率】3月5日 298.57%⇒215.95%

② 3月13日：米国2月CPIは予想を下回り、一時的に株価は小康状態に

米国2月のCPIは前年同月比+2.8%と予想を下回り、下落基調にあった株価は小康状態となりました。

【レバレッジ比率】3月13日 283.03%⇒216.01% 4月1日には296.38%へ

③ 4月3日：トランプ関税ショック⇒株式市場は急落

4月2日、トランプ大統領はすべての国に対して一律10%の基本関税を課すとともに、貿易赤字や非関税障壁のある国・地域等に関税を上乗せする相互関税の導入を発表。この発表を受け株式市場は4月3日から8日にかけて急落する展開となりました。

【レバレッジ比率】4月4日 281.55%⇒245.17% 4月22日には256.06へ

④ 4月9日：米国関税措置が一時凍結。交渉も進展し株価は持ち直し

米国がトリプル安（ドル安、株安、債券安）となる中、トランプ政権は対中国を除く相互関税上乗せを一時凍結（90日間）すると発表。株式市場は過度な悲観が後退、底打ちから上昇に転じました。

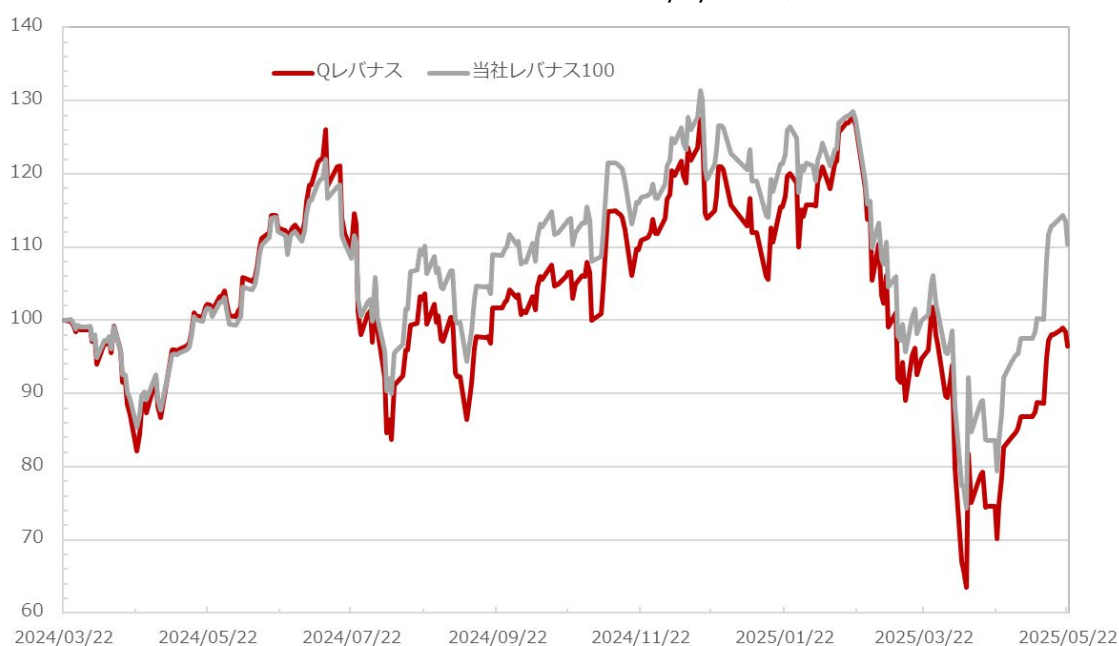
【レバレッジ比率】4月23日 256.06%⇒188.39% 5月22日には130.61へ

当ファンド設定来の当社レバナスとの比較

当ファンドでは、種々の投資戦略を活用しながら、NASDAQ100 株価指数（米ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることを目指したファンド（下図 4 の当社レバナス 100 ）より高いパフォーマンスをお客様にお返しできるよう、日々努めて参ります。（基準化ベンチマークとの比較とは異なりますが、投資家の皆様が普段見ていらっしゃる当ファンド（図表 4 の Q レバナス）と当社 auAM レバレッジ NASDAQ100（図表 4 のレバナス 100）との比較グラフを下記にお示しします。成功報酬計算とは異なるものである点ご注意ください。）

【図表 4 Q レバナス設定来の当社レバナス 100 との比較グラフ】

※2024/3/22 時点を 100 として指数化



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、au アセットマネジメント株式会社がファンドに関連する情報等をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。ファンドの取得の申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の[投資信託説明書（交付目論見書）](#)の内容を必ずご確認の上、ご自身でご判断ください。
- Qレバナスの詳細情報（リスク・費用等を含む）につきましては、[こちらのファンド詳細ページ](#)をご確認ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料の記載内容は過去のデータによるシミュレーションであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、基準日時点のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料の写真やイラストはイメージとして掲載するものです。
- ファンド名称の auAM は au アセットマネジメントの略称です。